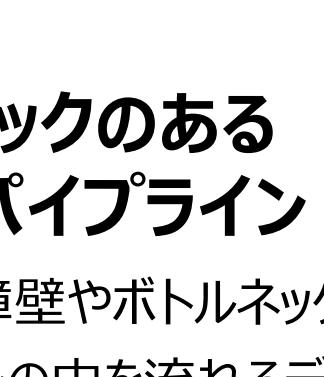


ネットアップの AIソリューション ビフォーアフター



ビフォー



1

ボトルネックのある データパイプライン

インフラに障壁やボトルネックがあると、
パイプラインの中を流れるデータの
邪魔になり、自由な流れが制限されます。

自由に流れる データパイプライン

エッジからコア、クラウドまで、データ収集を
効率化し、AIワークロードを加速して
クラウドでの統合をスムーズにすると、
パイプラインを通じて5倍のデータを
処理できます。



2

プロセスに基づくスピード

パイプラインを流れる膨大な量の
データによってインフラのコンピューティング、
ストレージ、ネットワークが圧倒され、
データの移動スピードが低下しています。

インテリジェンスに基づくスピード

GPU利用率95%以上を維持し、
データサービス階層を複数作成することで、
1ミリ秒を優に下回るレイテンシで
2GB/秒以上（ピーク時は5GB/秒）の
スループット達成し、持続します。



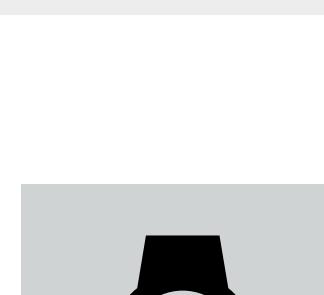
3

低速でオーバーサイズの データセットコピー

データセットのコピーに数日かかり、TCOの
ほとんどをストレージが占めているため、
データのコピーを作成する度にインフラに
新たなボトルネックが生じます。

高速の効率的な データセットコピー

コピーのスピードと効率が全面的に向上。
数時間や数日ではなく数分で作成が
完了します。保存の際のスペース効率にも
優れ、ストレージ容量を最大90%
削減できます。



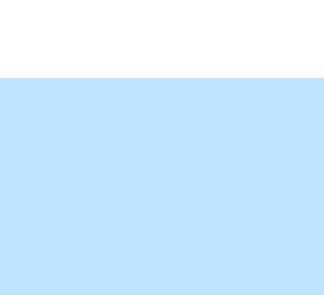
4

基本のストレージ機能

現在のストレージ機能でも
悪くはありませんが、AIには不十分です。
クローニングなど、もっと高度な機能が
あればよいのにと思いませんか？

高度なストレージ機能

ネットアップの業界をリードする
オープンソースのスタックに、革新的な
Kubernetes、Kubeflow、
NetApp® Astra™ Trident、
統合データ管理機能を組み合わせ、
簡単な導入、データモビリティ、
場所を問わないクラウド接続を実現した、
クラウドに最適なストレージです。



5

最初からお手上げ状態

AIインフラの構成に何日もかかるので、
一体いつから始められるのか、
誰にもわかりません。もしかしたら、
いつまで経ってもスタートできないかも
しません。

思い立ったその日からスタート

Ansibleの統合により、
AIインフラを約20分で構成できます。

AIによる変革を始める